



TITLE:

太陽観測報告(1924年2月, 3月, 4月,
5月, 6月)/ 藤井天文臺の火星観測所
/ 岡山支部九月通信/ 編輯室より/
事務室より

AUTHOR(S):

CITATION:

太陽観測報告(1924年2月, 3月, 4月, 5月, 6月)/ 藤井天文臺の火星観測所/
岡山支部九月通信/ 編輯室より/ 事務室より. 天界 1924, 4(46): 411-416

ISSUE DATE:

1924-10-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/160175>

RIGHT:

太陽觀測報告 1924年2月 三澤勝衛

日	黒點群	黒點數	大黒點	白紋	備考
1	0	0	0	0	
2	0	0	0	0	觀測者河西慶彦君
3	0	0	0	0	
4	1	2	0	2	黒點群西端近く南高緯度に突發白紋1は黒點群の圍に1は東方淡し
5	0	0	0	2	白紋何れも西方1は昨日黒點群の圍にありしもの
6	0	0	0	0	
7	0	0	0	0	
8	0	0	0	1	白紋は東方小規模
9	0	0	0	0	
10	—	—	—	—	雨
11	—	—	—	—	曇
12	0	0	0	0	觀測者河西君
13	0	0	0	0	
14	0	0	0	0	
15	1	1	1	0	大黒點中央子午線の稍西方北の中緯度に突發す
16	0	0	0	1	昨日の黒點本日消失白紋は東方
17	0	0	0	2	白紋何れも東方1は大にして昨日のものゝ續き
18	0	0	0	0	
19	0	0	0	0	
20	0	0	0	0	
21	0	0	0	0	
22	—	—	—	—	雪
23	0	0	0	0	
24	0	0	0	0	
25	1	4	0	0	1黒點群本日東方北の高緯度に突發
26	2	15+3=18	2+0=0	0	1黒點群中央子午線の稍西方南の低緯度に突發
27	1	20	4	0	昨日突發の小黒點群は本日消失25日突發のもの本日中央子午線通過
28	1	13	5	0	
29	1	13	2	0	

太陽は月末に至りやゝ復活の狀を呈し來れども尙大體に於て靜穩狀態にあり

1924年3月

日	黒點群	黒點數	大黒點	紋白	備考
1	1	9	2	1	黒點は先月末のもの、續き、白紋は黒點群の圍、
2	1	10	2	1	白紋は西方にあり黒點群の圍、
3	1	5	2	1	白紋同上
4	1	1	1	1	白紋同上
5	0	0	0	1	2月25日突發の黒點群本日は西端に没し白紋のみとなる
6	0	0	0	1	白紋東方
7	0	0	0	1	白紋東方
8	0	0	0	0	
9	0	0	0	0	
10	0	0	0	0	
11	0	0	0	0	
12	0	0	0	0	
13	0	0	0	0	
14	0	0	0	0	
15	0	0	0	0	
16	0	0	0	0	
17	0	0	0	1	白紋西方
18	0	0	0	0	
19	—	—	—	—	缺
20	—	—	—	—	缺
21	0	0	0	1	白紋東方
22	1	2	0	1	{1黒點群東方北部中緯度に突發白紋は昨日の續き
23	1	3	0	1	白紋大規模昨日の續き
24	1	1	0	1	白紋大規模なれ共淡し
25	0	0	0	1	22日突發の黒點群本日消失白紋西方小、
26	—	—	—	—	雪後曇
27	0	0	0	0	
28	0	0	0	0	
29	0	0	0	1	白紋は西方淡し
30	0	0	0	1	白紋西方小規模
31	0	0	0	2	白紋何れも西方大なれ共淡し

太陽面本月に入るも尙大體に於て甚靜穩なり

1924年4月

日	黒點群	黒點數	大黒點	白紋	備考
1	0	0	0	1	白紋は西方淡し
2	—	—	—	—	曇後小雨
3	0	0	0	1	白紋は西方
4	0	0	0	0	
5	0	0	0	0	
6	0	0	0	0	
7	0	0	0	0	
8	0	0	0	0	
9	0	0	0	1	白紋は東方小規模
10	0	0	0	0	
11	0	0	0	0	
12	?	?	0	?	雲を透して
13	—	—	—	—	雨
14	1?	1?	0	1	白紋に圍まれたる黒點西端に發見
15	0	0	0	1	{昨日發見の黒點群西端に没し白紋のみさなる
16	—	—	—	—	雨
17	1	7	0	1	1黒點群東側北部中緯度に發見
18	2	10+7=17	3+0=3	0	1黒點群東側南部中緯度に突發
19	2	17+24=41	3+0=3	0	兩群共發展す
20	2	8+16=24	2+2=4	0	17日發見の群本日中央子午線通過
21	2	5+13=18	1+3=4	0	18日突發の群本日中央子午線通過
22	2	3+23=26	0+5=5	0	
23	2	30+3=33	3+0=3	0	{20日中央子午線通過の群本日消失 3黒點よりなる1小群中央子午線の稍西方北部中緯度に突發
24	1	34	4	1	{昨日突發のもの本日消失白紋は西方にあり 23日消失のものゝさ關係あるもの
25	—	—	—	—	缺
26	1	8	2	1	白紋は黒點群の圍(觀測者河西君)
27	1	1	1	1	同上(觀測者同上)
28	0	0	0	0	{21日中央子午線通過の黒點群本日は西端に没す、
29	0	0	0	1	白紋西方
30	0	0	0	1	白紋は昨日の續き

上旬までは先月に引續き靜穩狀にありし太陽は中旬より活動狀を呈するに至れり。

1924年5月

日	黒點群	黒點數	大黒點	白紋	考
1	0	0	0	0	
2	0	0	0	1	白紋東方小規模
3	—	—	—	—	雨
4	—	—	—	—	雨及曇
5	—	—	—	—	曇
6	1	1	0	1	{1黒點中央子午線附近北部高緯度に發見白紋は東方
7	1	5	0	1	{昨日發見の黒點本日消失東方北部高緯度に白紋を伴へる1黒點群突發昨日の白紋の續き
8	—	—	—	—	缺
9	1	9	2	0	{7日突發のもの本日中央子午線通過(觀測者河西君)
10	1	13	3	0	
11	2	6+3=9	4+0=4	0	黒點群東側南の高緯度に突發
12	2	3+4=7	0+2=2	0	
13	4	1+5+1+1=8	0+2+0+0=2	3	{東端南及北の中緯度に1群づつ出現白紋は20の新群は6日發見の群の圍にあり
14	2	4+1=5	3+1=4	1	{9日中央子午線通過のものと昨日北の中緯度に出現のもの本日消失白紋は昨日南の中緯度に出現せるもの、圍
15	—	—	—	—	缺 11日突發のもの本日中央子午線通過の答
16	2	17+2=19	4+1=5	0	(觀測者河西君)
17	2	13+1=14	2+1=3	0	(同上)
18	5	11+1+1+1+1=15	3+0+0+1+0=4	2	{南の中緯度北の高緯度に夫々1群出現何れも白紋を伴ふ、南のや、高緯度中央子午線の東に1群突發13日南の中緯度に出現のもの本日中央子午線通過、昨日中央子午線通過のものと及昨日突發の群は本日消失、
19	3	8+2+1=11	2+1+0=3	3	缺
20	—	—	—	—	
21	3	1+1+5=7	1+1+0=2	2	白紋は何れも西方黒點群の圍
22	2	2+7=9	1+0=1	0	18日北の高緯度に出現のもの、本日消失
23	3	2+4+6=12	1+0+0=1	2	{北の高緯度中央子午線の東方及南高緯度西端近くに夫々黒點突發白紋は何れも西、1つは黒點群の圍
24	—	—	—	—	{曇後雨18日南の高緯度に出現のもの本日中央子午線通過の答
25	1	1	0	1	{23日突發のもの何れも消失白紋は西方大規模
26	1	1	0	0	
27	1	1	0	1	白紋は西方大規模
28	0	0	0	1	{白紋西方、24日中央子午線通過のもの本日消失
29	2	5+1=6	0	2	{西端北の高緯度(昨日白紋の變化せるもの)及北の中緯度中央子午線の稍西方に夫々黒點突發、
30	2	2+2=4	0+1=1	3	{昨日2黒點群何れも消失、東端北の高緯度及中央子午線や、西方北の高緯度に夫々新黒點群出現並に突發
31	1	11	4	1	{昨日突發のもの本日消失白紋は黒點の圍にあり

太陽面は本月に入り更に活動狀を呈せり然れ共各黒點群の壽命は一般に短し。

1924年6月

日	黒點群	黒點數	大黒點	白紋	備考
1	1	11	5	2	{黒點群は先月末の續き白紋1つは東方黒點群の圍に1つは西方
2	1	6	4	0	(觀測者河西慶彦君)
3	1	26	4	0	
4	1	31	4	0	
5	—	—	—	—	{曇先月30日出現の黒點群本日中央子午線通過の筈
6	1	33	3	1	白紋は西方
7	1	21	3	0	
8	2	18+1=19	5+0=5	1	東側南方高緯度に白紋を伴へる一群突發
9	2	18+1=19	3+0=3	4	{昨日突發のもの本日消失、東端南の高緯度に1群出現白紋兩黒點群の圍及東方に
10	1	8	2	2	{昨日突發のもの本日消失、白紋1つは黒點の周圍他は昨日突發の黒點群のもの
11	1	2	2	2	白紋1は黒點の圍にて大規模他は昨日の續き
12	0	0	0	3	{5日中央子午線通過の群本日は西端に没し白紋のみさなる、他の白紋2は東方
13	1	2	0	0	中央子午線附近北の中緯度に1群突發
14	2	14+5=19	0	0	中央子午線附近南の中緯度に1群突發
15	2	15+14=29	2+0=2	1	白紋西方
16	2	5+5=10	1+0=1	2	白紋何れも西方1は13日突發の群の圍、
17	2	3+4=7	1+0=1	3	同上
18	—	—	—	—	曇後雨
19	1	5	0	2	{白紋何れも西方1は14日突發のものの圍、1は13日突發のものの後身
20	3	2+4+8=14	0+0+1=1	2	{北の中緯度中央子午線の稍東及東端近くに夫々一新群突發白紋は14日突發のものと東端のもの圍
21	2	3+6=9	0+1=1	3	白紋何れも西方1は14日突發のものの後身
22	2	3+3=6	0+1=1	0	
23	—	—	—	—	
24	2	2+3=5	0+1=1	1	{20日東端近く突發のもの本日中央子午線通過白紋は西方20日中央子午線附近突發のものの圍、
25	2	2+1=3	0+1=1	1	白紋は昨日の續き
26	2	2+1=3	0+1=1	2	白紋は西方兩黒點群の圍にあり
27	1		1	1	{白紋西方黒點群の圍20日中央子午線附近に突發せるもの昨日西に没す
28	2	1+2=3	0+2=2	2	東端北の中緯度に一群出現白紋は兩群の圍
29	2	1+=	0+2=2	3	白紋は東西兩黒點群の圍に及他の1は東端に、
30	1			1	{24日中央子午線通過のもの昨日中に西端に没す白紋は東方黒點群の圍、

太陽面の活動狀態大體に於て先月さ大差なし(2月以來小生甚だ多忙を極めたるにより本表の整理上山岡克己君の助力によるところ甚だ大なり記して感謝の意を表す)

○岡山支部九月通信

三、天界研究會 十三日水野幹事宅で開催。
四、講話會 水野幹事は左記の通り講話をした。

1、六日津山高専女學校で「地球の眞運動」

28日、十一日、十九日岡山縣師範學校で「國語讀本にある天文學教材について」
3、二十二日 萬壽青年團文化講習會で、「星の大きさ距離さ」

4、二十七日徳本小學校で「星の話」

五、太陽黑點の觀測開始 毎日水野幹事觀測
六、金壹百圓也 名譽會員守屋荒美雄氏は三

時望遠鏡購入費の殘金壹百圓を七日寄附されたので前記の如く活氣づき大活動をする

ことが出来た事を本誌を通して寄附者に深く感謝するものである。今後望遠鏡を十分利用されんことを支部諸君にお奨めする。

編輯室より

天界の本月號也非常に遅れて申譯けがあり
ません。十一月號からは正規に出しましよ
う。

事務室より

前金切の御方は何卒御拂込を願ひます。

天文同好會

[illegible]